

エピソードによる評価について

■ 目 次 ■

- 1) エピソードによる評価手法の検討経緯 1

- 2) 虫取り名人 2

- 3) キャナルフライデー 6

- 4) 森のフェスタ 11

- 5) エコキッズメッセ 15

- 6) あまがさきモリンピック 19

- 7) 総括 24

1) エピソードによる評価手法の検討経緯

(平成30年度第2回尼崎21世紀の森づくり協議会資料より抜粋)

尼崎21世紀の森づくりの取組方針や事業の評価手法などについて示されている、「尼崎21世紀の森づくり行動計画」には、「活動の主体となる市民、企業・団体等のエピソードや意見をできるだけ集約・分析することを通じて、より多角的な評価に努めること」が明記されている。

これを受け尼崎21世紀の森づくり協議会では、平成29年度から多角的評価手法の1つとしてエピソードによる評価について検討を進めてきた。

エピソードによる評価は、イベント参加者からアンケート（アクティビティシート）を記入してもらい、その回答により4つの取組方針のうち、どの方針に寄与しているか分析するものである。

表1 エピソード評価に用いるアクティビティと評価指標の関係

尼崎21世紀の森づくり行動計画の4つの取組方針	身体性/関係性	評価指標	アクティビティ (森の感想シート、森の期待シート)
1.環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組	身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥や虫の声を聞いた ・海のかおりがした ・みどり(森)や水辺(運河、海)の風景をゆっくり眺めた
	身体性	体を動かせる	<ul style="list-style-type: none"> ・思いきりからだを動かして汗をかいた ・遊んでいる子ども達の声聞いた ・散歩やウォーキングをしている人を見た
2.活力ある都市の再生に向けた取組	身体性	にぎわいを感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏やパフォーマンスをしている人を見た ・おそとでご飯を食べた ・にぎやかさを心地よく感じた
	関係性	非日常がある	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけの時間を楽しんだ ・いっしょに手をたたいたり、おどったりした ・食事やショッピングにお金を使った
3.既存産業の育成・高度化と新産業の創造に向けた取組	身体性	尼崎らしさを感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎にしかないものを見つけた ・見たことのない景色を見た ・尼崎で働いている人としゃべった
	関係性	工業都市を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな会社があるのかわかった ・どんなものがつくられているのかわかった ・くらしや環境に結びつく技術を知った
4.多様な主体による推進に向けた取組	関係性	居場所やコミュニティがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ともだちができた ・知り合いに出会った ・知らない人と話した
	関係性	様々なチャレンジにつながる機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことを披露できた ・まちのプロに何かを教えてもらった ・ほめられたり共感されてうれしかった

2) 虫取り名人 (主催者と参加者との回答結果の比較)

試行日	9月15日(金)		
場所	尼崎の森中央緑地	参加人数	400人
「森の感想シート」 回答者数	35人	「森の期待シ ート」記入方法	スタッフの合議により決定
主催	兵庫県	共催	尼崎市

虫の捕まえ方の講義を受けてから虫取りを開始



親子でいっしょに虫を見つけて捕まえる



森の中の昆虫も採集します



虫取り網の使い方も慣れて、余裕ができました。



バッタ飛ばし競争は、当日捕まえたバッタで実施しました



虫を電子顕微鏡で拡大



表2 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(虫取り名人)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	50.8	160	・鳥や虫の声を聞いた	75
				・海のかおりがした	13
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	72
	体を動かせる	70.8	223	・思いきりからだを動かして汗をかいた	85
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	96
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	42
	にぎわいを感じる	33.3	105	・演奏やパフォーマンスを見た	6
				・おそとでごはんを食べた	22
				・にぎやかさを心地よく感じた	77
	尼崎らしさを感じる	37.1	117	・尼崎にしかないものを見つけた	37
				・見たことのない景色を見た	32
				・尼崎で働いている人としゃべった	48
関係性	非日常がある	19.7	62	・自分だけの時間を楽しんだ	49
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	8
				・食事やショッピングにお金を使った	5
	工業都市を感じる	14.6	46	・どんな会社があるのかわかった	4
				・どんなものが作られているのかわかった	14
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	28
	居場所やコミュニティがある	51.0	160.5	・ともだちができた	14
				・知り合いに出会った	33
				・知らない人と話した	75
	様々なチャレンジにつながる機会がある	62.9	198	・家族で楽しめた	92
				・自分の得意なことを披露できた	32
				・まちのプロに何かを教えてもらった	74
・ほめられたり共感されてうれしかった				68	
				・虫のことをたくさん知ることができた	90

表3 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(虫取り名人)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	66.7	6	・鳥や虫の声を聞いた	3
				・海のかおりがした	1
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	2
	体を動かせる	77.8	7	・思いきりからだを動かして汗をかいた	2
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	3
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	2
	にぎわいを感じる	22.2	2	・演奏やパフォーマンスを見た	0
				・おそとでごはんを食べた	0
				・にぎやかさを心地よく感じた	2
	尼崎らしさを感じる	33.3	3	・尼崎にしかないものを見つけた	1
				・見たことのない景色を見た	1
				・尼崎で働いている人としゃべった	1
関係性	非日常がある	33.3	3	・自分だけの時間を楽しんだ	3
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	0
				・食事やショッピングにお金を使った	0
	工業都市を感じる	11.1	1	・どんな会社があるのかわかった	0
				・どんなものが作られているのかわかった	0
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	1
	居場所やコミュニティがある	58.3	5.25	・ともだちができた	1
				・知り合いに出会った	1
				・知らない人と話した	2
	様々なチャレンジにつながる機会がある	100	9	・家族で楽しめた	3
				・自分の得意なことを披露できた	3
				・まちのプロに何かを教えてもらった	3
・ほめられたり共感されてうれしかった				3	
				・虫のことをたくさん知ることができた	3

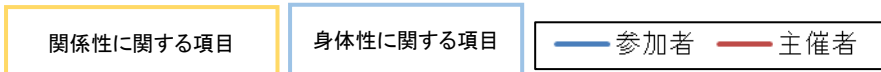
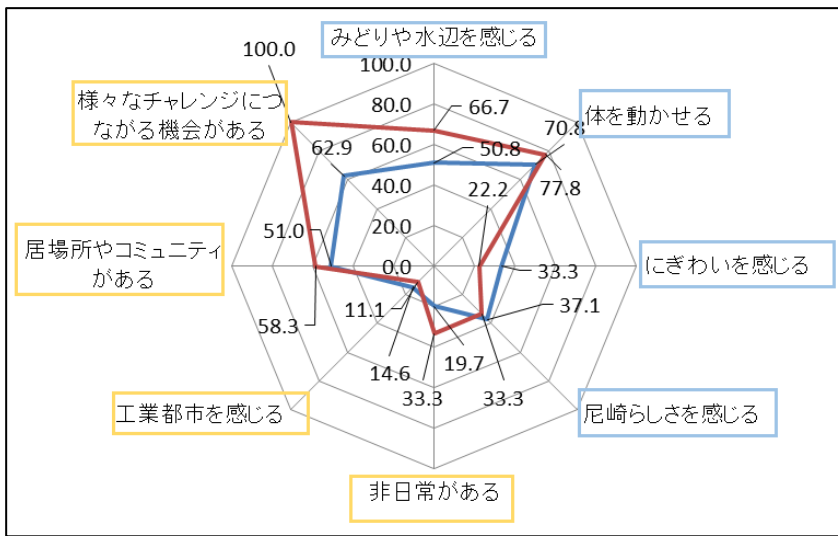


表4 比較結果内訳【%】
(虫取り名人)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	50.8	66.7
体を動かせる	70.8	77.8
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2
にぎわいを感じる	33.3	22.2

図1 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(虫取り名人)

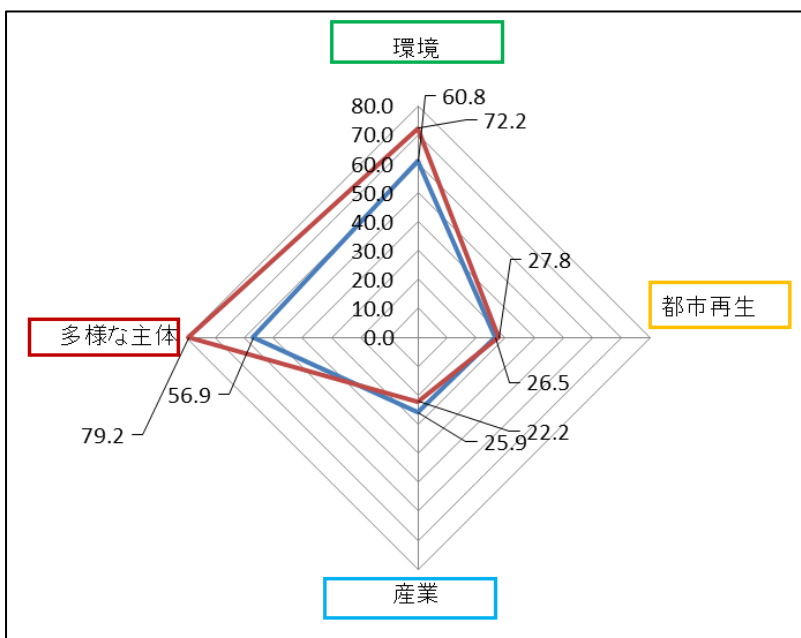
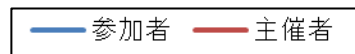


表5 比較結果内訳【%】
(虫取り名人)

評価指標	参加者	主催者
環境	60.8	72.2
都市再生	26.5	27.8
産業	25.9	22.2
多様な主体	56.9	79.2

図2 尼崎 21世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(虫取り名人)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントのねらいや趣旨が伝わったものとする。
- ・「体をうごかせる」については参加者の評価が 70.8%と高く、虫取りの行動が活発であったことや、子ども・親子を対象にイベントの内容を企画したことがその理由として考えられる。
- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」については、62.9%と参加者の評価は高く、「虫のことをたくさん知る」ための企画（調査の協力として採取した昆虫を報告してもらうなど）が評価されていることが考えられる。

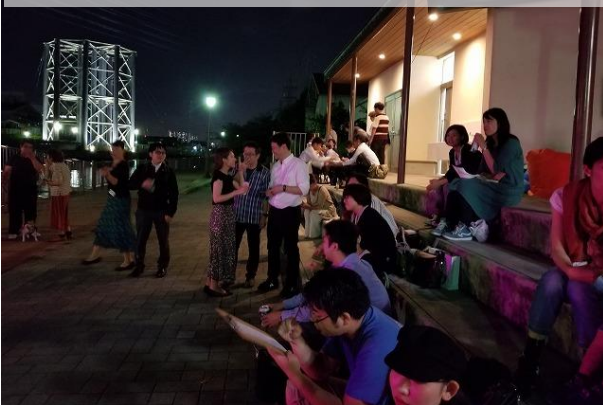
【改善点】

- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」については、イベントを通じて得た虫に関する知識を活かせる機会をつくることでさらに評価が得られるかもしれない。（例：「(仮)虫の取り方マスター」の称号を授与する。「(仮)子ども調査隊をつくって活動する」をつくる、年上の子どもが年下の子どもを教えるなど）

3) キャナルフライデー（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	9月27日(金)		
場所	北堀運河・キャナルベ ース周辺	参加人数	300人
「森の感想シート」 回答者数	23人	「森の期待シ ート」記入方法	合議により、5月24日(金)の同イ ベントで記入したものを使用
主催	キャナルフライデーパートナーズ		

日が暮れると企業の従業員が現れ、ビール飲み始める



照明等を充実し、落ち着いた運河の雰囲気を出



運河をバックに歌うカラオケは大好評で、順番待ちの状態



イベントを通じて夜の運河の楽しみ方をPRできた



キャナルフライデーで使用する通貨



クルーズ船から見る運河の夜景



表6 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(チャンネルフライデー)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	55.6	115	・鳥や虫の声を聞いた	18
				・海のかおりがした	44
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	53
	体を動かせる	38.2	79	・思いきりからだを動かして汗をかいた	29
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	21
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	29
	にぎわいを感じる	79.0	163.5	・演奏やパフォーマンスを見た	62
				・おそとでごはんを食べた	62
				・にぎやかさを心地よく感じた	61
	尼崎らしさを感じる	68.6	142	・酔っぱらった	33
				・尼崎にしかないものを見つけた	45
				・見たことのない景色を見た	46
関係性	非日常がある	76.8	159	・尼崎で働いている人としゃべった	51
				・自分だけの時間を楽しんだ	42
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	56
				・食事やショッピングにお金を使った	58
	工業都市を感じる	28.0	58	・ロマンチックを感じた	56
				・どんな会社があるのかわかった	24
				・どんなものが作られているのかわかった	15
	居場所やコミュニティがある	66.2	137	・くらしや環境にかかわる技術を知った	19
				・ともだちができた	39
				・知り合いに出会った	48
	様々なチャレンジにつながる機会がある	29.5	61	・知らない人と話した	50
				・自分の得意なことを披露できた	19
・まちのプロに何かを教えてもらった				18	
・ほめられたり共感されてうれしかった				24	

表7 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(チャンネルフライデー)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	67.9	55	・鳥や虫の声を聞いた	11
				・海のかおりがした	20
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	24
	体を動かせる	24.7	20	・思いきりからだを動かして汗をかいた	3
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	2
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	15
	にぎわいを感じる	83.3	67.5	・演奏やパフォーマンスを見た	24
				・おそとでごはんを食べた	22
				・にぎやかさを心地よく感じた	24
	尼崎らしさを感じる	79.0	64	・酔っぱらった	20
				・尼崎にしかないものを見つけた	20
				・見たことのない景色を見た	24
関係性	非日常がある	51.9	42	・尼崎で働いている人としゃべった	20
				・自分だけの時間を楽しんだ	9
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	18
				・食事やショッピングにお金を使った	13
	専門性・革新性がある	40.7	33	・ロマンチックを感じた	16
				・どんな会社があるのかわかった	16
				・どんなものが作られているのかわかった	10
	居場所やコミュニティがある	69.1	56	・くらしや環境にかかわる技術を知った	7
				・ともだちができた	17
				・知り合いに出会った	19
	機会がある	59.3	48	・知らない人と話した	20
				・自分の得意なことを披露できた	18
・まちのプロに何かを教えてもらった				14	
・ほめられたり共感されてうれしかった				16	

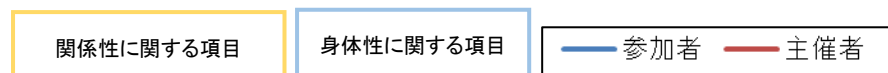
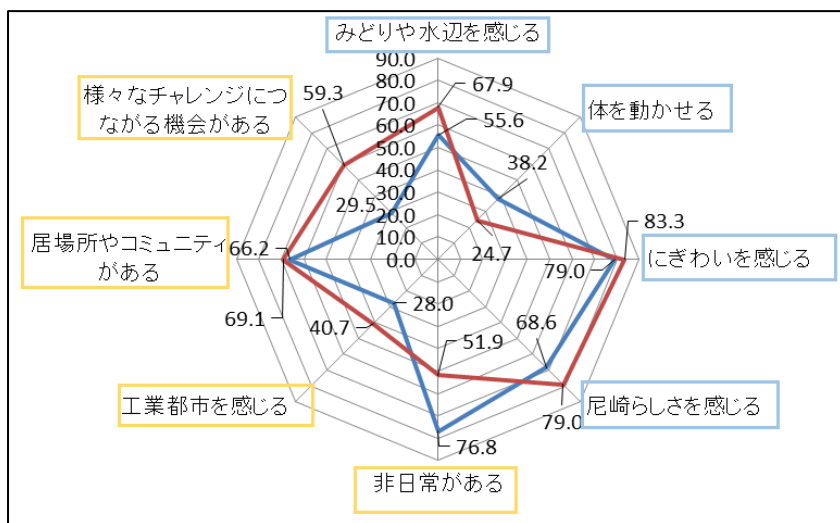


表8 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー9月)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	55.6	67.9
体を動かせる	38.2	24.7
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3
にぎわいを感じる	79.0	83.3

図3 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー9月)

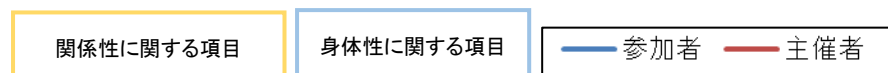
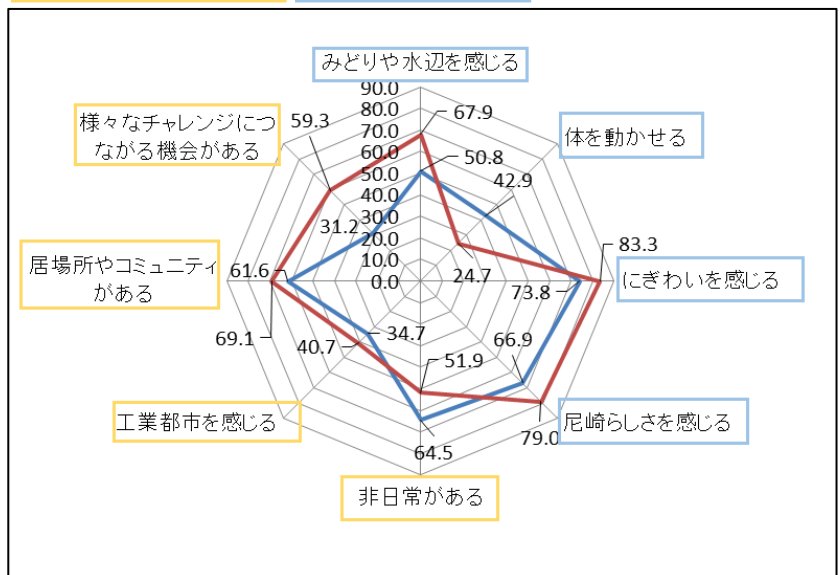


表9 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー5月)

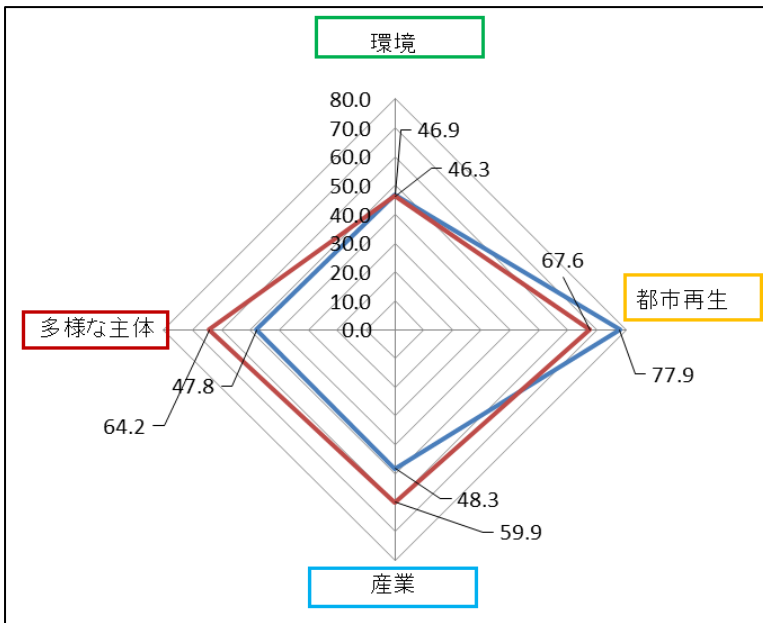


評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	50.8	67.9
体を動かせる	42.9	24.7
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3
にぎわいを感じる	73.8	83.3

図4 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー5月)

— 参加者 — 主催者

表 10 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー9月)

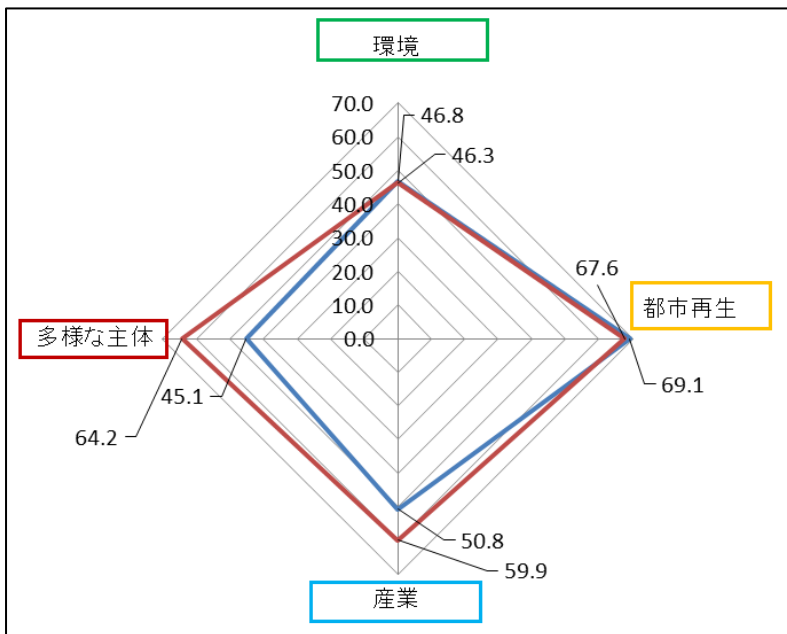


評価指標	参加者	主催者
環境	46.9	46.3
都市再生	77.9	67.6
産業	48.3	59.9
多様な主体	47.8	64.2

図5 尼崎21世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー9月)

— 参加者 — 主催者

表 11 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー5月)



評価指標	参加者	主催者
環境	46.8	46.3
都市再生	69.1	67.6
産業	50.8	59.9
多様な主体	45.1	64.2

図6 尼崎21世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー5月)

主催者による評価と改善点

【評価】

9月実施分について

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントのねらいや趣旨が伝わったものとする。
- ・「非日常がある」について、参加者の評価が上回っていることは、今回、カラオケの照明及び音響機材の充実や、「チャンネル」という通貨使って試行的に商品の売買をおこなったことが影響していると思う。
- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」について、参加者はさほど感じていないことから、現段階では企画の充実等は必要ないかもしれない。

5月と9月実施分の比較について

- ・9月分は5月分と比較して「非日常がある」が10ポイント以上上回っている。カラオケでの照明及び音響機材の充実や、「チャンネル」という通貨の導入によりその効果があったものとする。

【改善点】

- ・「にぎわいを感じる」「非日常がある」の評価をさらに高めるため、運河周辺の工場従業員などを対象に企業対抗のカラオケ大会を実施したい。
- ・その結果、「様々なチャレンジにつながる機会がある」の評価が高まるかもしれない。

4) 森のフェスタ（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	10月20日(日)		
場所	尼崎の森中央緑地	参加人数	5,000人
「森の感想シート」回答者数	41人	「森の期待シート」記入方法	スタッフの合議により決定
主催	兵庫県	共催	尼崎市

企業のクラフト体験ブース



アマフォレストの会の体験ブース



大芝生広場を会場としてイベントを実施



はたらく車の展示スペース



郷土の野草の寄せ植え体験スペース



表 12 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(森のフェスタ)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	55.6	205	・鳥や虫の声を聞いた	70
				・海のかおりがした	37
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	98
	体を動かせる	71.5	264	・思いきりからだを動かして汗をかいた	76
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	139
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	49
	にぎわいを感じる	76.2	281	・演奏やパフォーマンスを見た	103
				・おそとでごはんを食べた	104
				・にぎやかさを心地よく感じた	74
	尼崎らしさを感じる	53.1	196	・尼崎にしかないものを見つけた	65
				・見たことのない景色を見た	63
				・尼崎で働いている人としゃべった	68
関係性	非日常がある	48.5	179	・自分だけの時間を楽しんだ	39
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	56
				・食事やショッピングにお金を使った	84
	工業都市を感じる	60.4	223	・どんな会社があるのかわかった	81
				・どんなものが作られているのかわかった	55
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	87
	居場所やコミュニティがある	38.2	141	・ともだちができた	30
				・知り合いに出会った	32
				・知らない人と話した	79
	様々なチャレンジにつながる機会がある	38.2	141	・自分の得意なことを披露できた	14
				・まちのプロに何かを教えてもらった	37
				・ほめられたり共感されてうれしかった	40
・森づくりの取組を知った				97	

表 13 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(森のフェスタ)

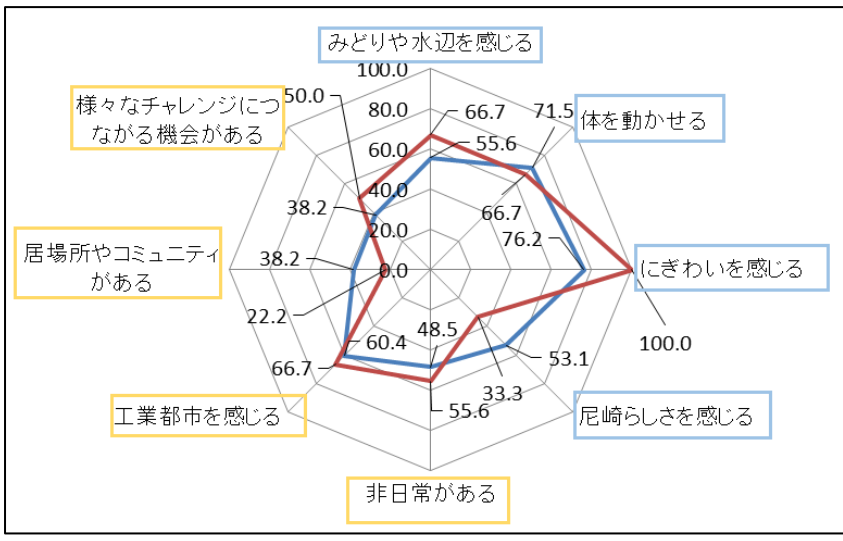
評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	66.7	6	・鳥や虫の声を聞いた	2
				・海のかおりがした	1
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	3
	体を動かせる	66.7	6	・思いきりからだを動かして汗をかいた	2
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	3
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	1
	にぎわいを感じる	100	9	・演奏やパフォーマンスを見た	3
				・おそとでごはんを食べた	3
				・にぎやかさを心地よく感じた	3
	尼崎らしさを感じる	33.3	3	・尼崎にしかないものを見つけた	1
				・見たことのない景色を見た	1
				・尼崎で働いている人としゃべった	1
関係性	非日常がある	55.6	5	・自分だけの時間を楽しんだ	0
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	2
				・食事やショッピングにお金を使った	3
	工業都市を感じる	66.7	6	・どんな会社があるのかわかった	2
				・どんなものが作られているのかわかった	2
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	2
	居場所やコミュニティがある	22.2	2	・ともだちができた	0
				・知り合いに出会った	2
				・知らない人と話した	0
	様々なチャレンジにつながる機会がある	50	4.5	・自分の得意なことを披露できた	0
				・まちのプロに何かを教えてもらった	2
				・ほめられたり共感されてうれしかった	1
・森づくりの取組を知った				3	

関係性に関する項目

身体性に関する項目

参加者 主催者

表 14 比較結果内訳【%】
(森のフェスタ)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	55.6	66.7
体を動かせる	71.5	66.7
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0
にぎわいを感じる	76.2	100.0

図7 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(森のフェスタ)

参加者 主催者

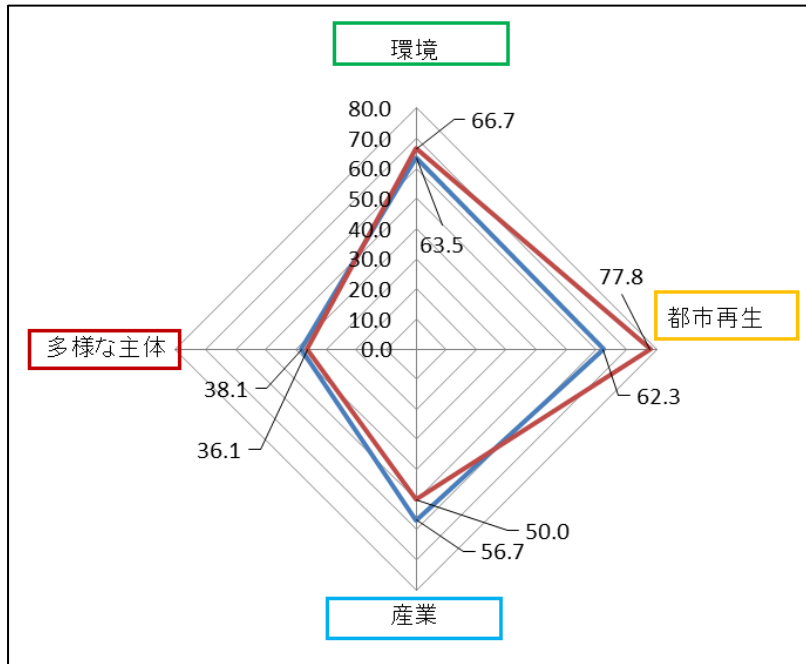


表 15 比較結果内訳【%】
(森のフェスタ)

評価指標	参加者	主催者
環境	63.5	66.7
都市再生	62.3	77.8
産業	50.0	56.7
多様な主体	38.1	36.1

図8 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(森のフェスタ)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントのねらいや趣旨が伝わったものとする。
- ・「にぎわいを感じる」「体を動かせる」「工業都市を感じる」の順に参加者の評価が高い。特に「工業都市を感じる」項目の評価が高かったことは、造園業の重機の展示や乗車体験が影響しているものと考えられる。

【改善点】

- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」については、イベントを通じて知ることができた森づくりの取組の知識を活かせる機会をつくることで、さらに評価が得られるかもしれない。(例：森の案内役やクラフトづくりのサポートスタッフなど)

5) エコキッズメッセ（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	11月3日(日)		
場所	尼崎の森中央緑地 パークセンター	参加人数	1,000人
「森の感想シート」回答者数	66人	「森の期待シート」記入方法	6名:エコキッズメッセ実行員会メンバーによる記入
主催	エコキッズメッセ実行員会	共催	兵庫県阪神南県民センター、 あまがさきモリニック実行委員会



表 16 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(エコキッズメッセ)

評価指標	割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数	
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	43.1	256	・鳥や虫の声を聞いた	73
				・海のかおりがした	49
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	134
	体を動かせる	77.8	462	・思いきりからだを動かして汗をかい	131
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	183
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	148
	にぎわいを感じる	68.9	409	・演奏やパフォーマンスを見た	85
				・おそとでごはんを食べた	157
				・にぎやかさを心地よく感じた	167
	尼崎らしさを感じる	45.1	268	・尼崎にしかないものを見つけた	74
				・見たことのない景色を見た	87
				・尼崎で働いている人としゃべった	107
関係性	非日常がある	44.9	267	・自分だけの時間を楽しんだ	104
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	79
				・食事やショッピングにお金を使った	84
	工業都市を感じる	47.1	280	・どんな会社があるのかわかった	94
				・どんなものが作られているのを知った	93
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	93
	居場所やコミュニティがある	35.4	210	・ともだちができた	46
				・知り合いに出会った	62
				・知らない人と話した	102
	様々なチャレンジにつながる機会がある	22.4	133	・自分の得意なことを披露できた	23
				・まちのプロに何かを教えてもらった	57
				・ほめられたり共感されてうれしかった	53

表 17 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(エコキッズメッセ)

評価指標	割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数	
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	64.8	35	・鳥や虫の声を聞いた	12
				・海のかおりがした	10
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	13
	体を動かせる	72.2	39	・思いきりからだを動かして汗をかい	11
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	15
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	13
	にぎわいを感じる	51.9	28	・演奏やパフォーマンスを見た	7
				・おそとでごはんを食べた	10
				・にぎやかさを心地よく感じた	11
	尼崎らしさを感じる	51.9	28	・尼崎にしかないものを見つけた	7
				・見たことのない景色を見た	11
				・尼崎で働いている人としゃべった	10
関係性	非日常がある	50	27	・自分だけの時間を楽しんだ	9
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	10
				・食事やショッピングにお金を使った	8
	専門性・革新性がある	68.5	37	・どんな会社があるのかわかった	12
				・どんなものが作られているのを知った	10
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	15
	居場所やコミュニティがある	59.3	32	・ともだちができた	10
				・知り合いに出会った	11
				・知らない人と話した	11
	機会がある	46.3	25	・自分の得意なことを披露できた	8
				・まちのプロに何かを教えてもらった	8
				・ほめられたり共感されてうれしかった	9

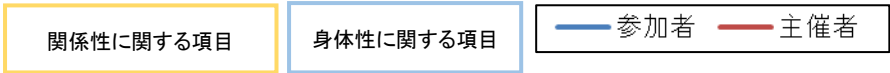
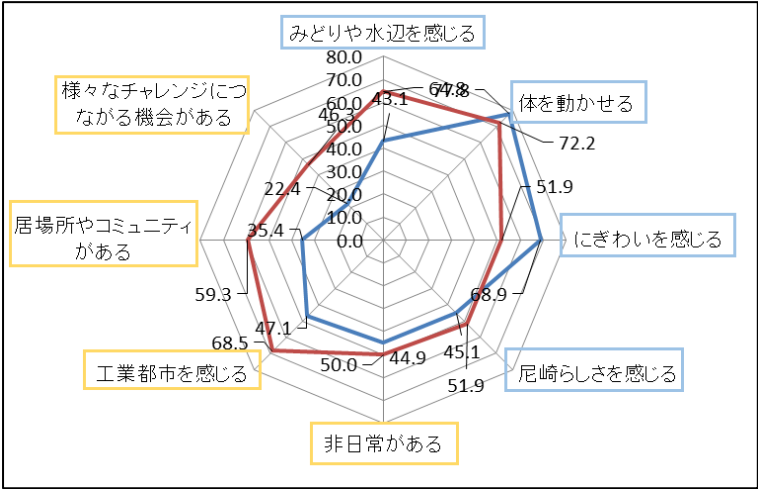


表 18 比較結果内訳【%】
(エコキッズメッセ)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	43.1	64.8
体を動かせる	77.8	72.2
にぎわいを感じる	68.9	51.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9
にぎわいを感じる	51.9	68.9

図9 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(エコキッズメッセ)

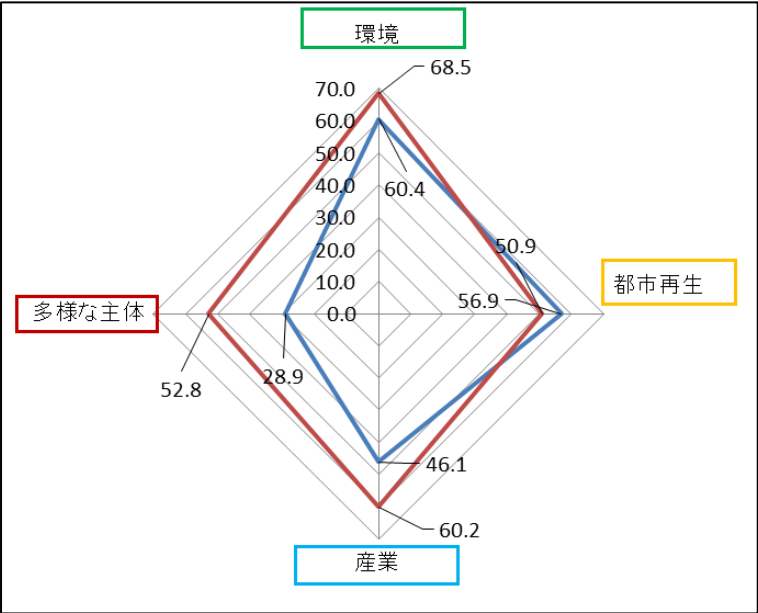


表 19 比較結果内訳【%】
(エコキッズメッセ)

評価指標	参加者	主催者
環境	60.4	68.5
都市再生	56.9	50.9
産業	46.1	60.2
多様な主体	28.9	52.8

図 10 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(エコキッズメッセ)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントの趣旨が伝わったものと考ええる。
- ・ただ、「工業都市を感じる」「尼崎らしさを感じる」は参加者の評価が、主催者を下回っており、改善が必要である。

【改善点】

- ・「工業都市を感じる」「尼崎らしさを感じる」など、参加者に感じてほしい項目を絞って、出展を検討してもいいかもしれない。

試行日	11月3日(日)		
場所	尼崎の森中央緑地 大芝生広場	参加人数	2,500人
「森の感想シート」 回答者数	76人	「森の期待シ ート」記入者数	18名 あまがさきモリンピックパートナーズ
主催	尼崎の森中央緑地パークセンター		
企画運営	あまがさきモリンピックパートナーズ (兵庫県、尼崎市、有限会社トップコーポレーション、尼崎市PTA連合会、コープこうべ第1地区本部、百合学院IAC、NPO法人尼崎 21世紀の森、若竹体操教室、日本ラクロス協会、森の会議)		

協賛企業からメダルの贈呈



間伐材を活用した競技



幼児も参加できる競技



大芝生広場を満喫する競技



茅葺民家での昔体験



間伐材の重さ当てる競技



表 20 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(あまがさきモリンピック)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	43.6	298	・鳥や虫の声を聞いた	75
				・海のかおりがした	64
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	159
	体を動かせる	80.3	549	・思いきりからだを動かして汗をかいた	155
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	218
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	176
	にぎわいを感じる	71.1	486	・演奏やパフォーマンスを見た	75
				・おそとでごはんを食べた	210
				・にぎやかさを心地よく感じた	201
	尼崎らしさを感じる	41.2	282	・尼崎にしかないものを見つけた	86
				・見たことのない景色を見た	102
				・尼崎で働いている人としゃべった	94
関係性	非日常がある	45.8	313	・自分だけの時間を楽しんだ	106
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	112
				・食事やショッピングにお金を使った	95
	工業都市を感じる	38.9	266	・どんな会社があるのかわかった	90
				・どんなものが作られているのを知った	93
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	83
	居場所やコミュニティがある	27.2	186	・ともだちができた	29
				・知り合いに出会った	70
				・知らない人と話した	87
	様々なチャレンジにつながる機会がある	26.2	179	・自分の得意なことを披露できた	50
				・まちのプロに何かを教えてもらった	54
				・ほめられたり共感されてうれしかった	75

表 21 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳((あまがさきモリンピック))

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	59.3	96	・鳥や虫の声を聞いた	32
				・海のかおりがした	23
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	41
	体を動かせる	81.5	132	・思いきりからだを動かして汗をかいた	50
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	53
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	29
	にぎわいを感じる	70.4	114	・演奏やパフォーマンスを見た	21
				・おそとでごはんを食べた	44
				・にぎやかさを心地よく感じた	49
	尼崎らしさを感じる	56.8	92	・尼崎にしかないものを見つけた	30
				・見たことのない景色を見た	34
				・尼崎で働いている人としゃべった	28
関係性	非日常がある	39.5	64	・自分だけの時間を楽しんだ	13
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	39
				・食事やショッピングにお金を使った	12
	専門性・革新性がある	41.4	67	・どんな会社があるのかわかった	25
				・どんなものが作られているのを知った	23
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	19
	居場所やコミュニティがある	77.8	126	・ともだちができた	43
				・知り合いに出会った	37
				・知らない人と話した	46
	様々なチャレンジにつながる機会がある	61.1	99	・自分の得意なことを披露できた	31
				・まちのプロに何かを教えてもらった	23
				・ほめられたり共感されてうれしかった	45

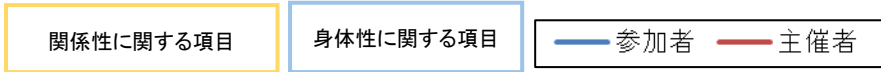
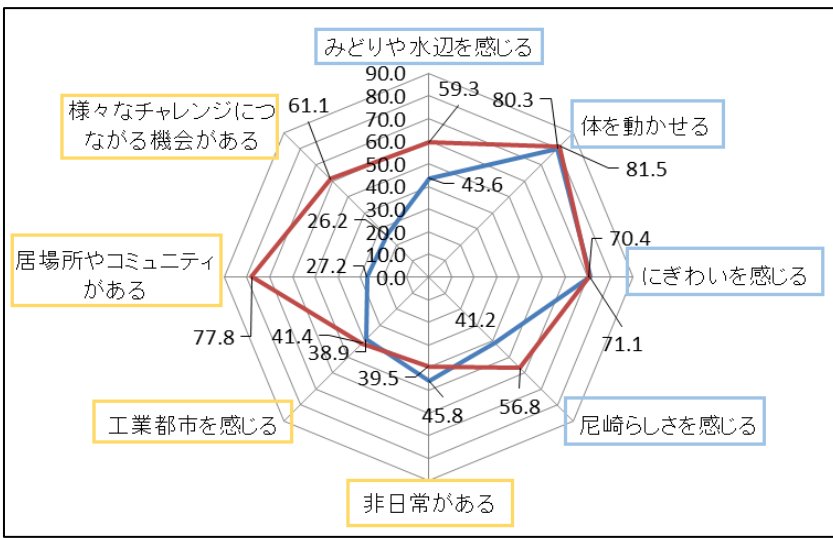


表 22 比較結果内訳【%】
(あまがさきモリンピック)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	43.6	59.3
体を動かせる	80.3	81.5
にぎわいを感じる	71.1	70.4
尼崎らしさを感じる	41.2	56.8
非日常がある	45.8	39.5
工業都市を感じる	38.9	41.4
居場所やコミュニティがある	27.2	77.8
様々なチャレンジにつながる機会がある	26.2	61.1

図 11 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(あまがさきモリンピック 令和元年)

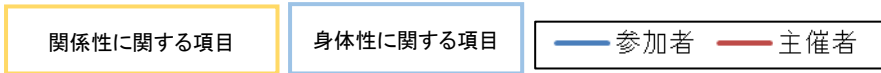
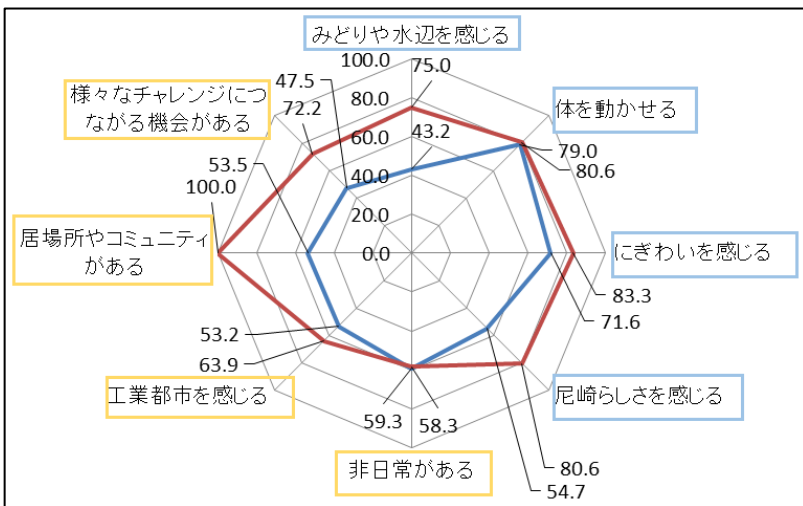


表 23 比較結果内訳【%】
(あまがさきモリンピック)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	43.2	75.0
体を動かせる	79.0	80.6
にぎわいを感じる	71.6	83.3
尼崎らしさを感じる	54.7	80.6
非日常がある	59.3	58.3
工業都市を感じる	53.2	63.9
居場所やコミュニティがある	53.5	100.0
様々なチャレンジにつながる機会がある	47.5	72.2

図 12 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(あまがさきモリンピック平成 30 年)

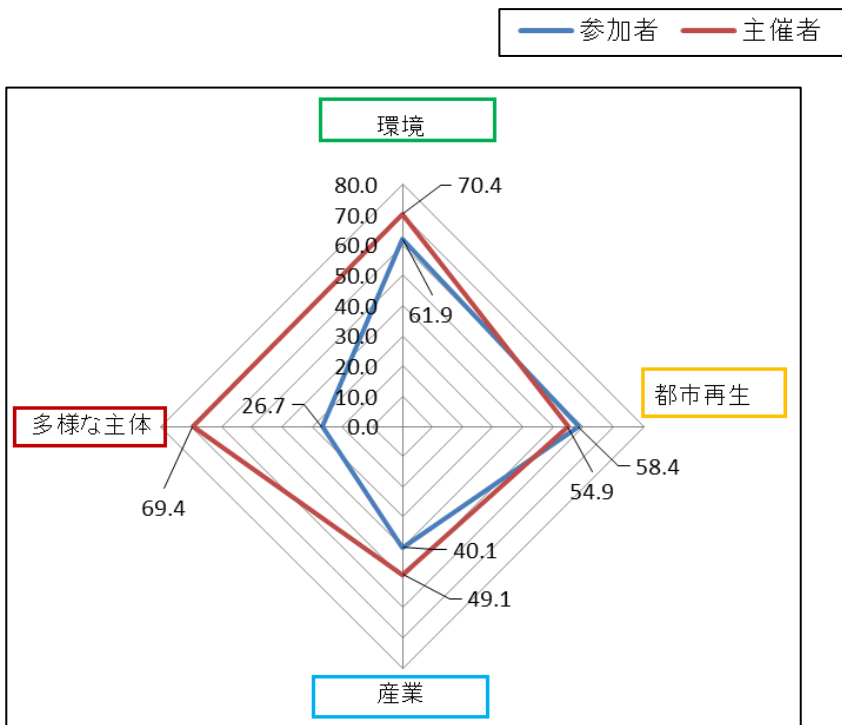


表 24 比較結果内訳【%】
(あまがさきモリンピック)

評価指標	参加者	主催者
環境	61.9	70.4
都市再生	58.4	54.9
産業	40.1	49.1
多様な主体	26.7	69.4

図 13 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(あまがさきモリンピック 令和元年)

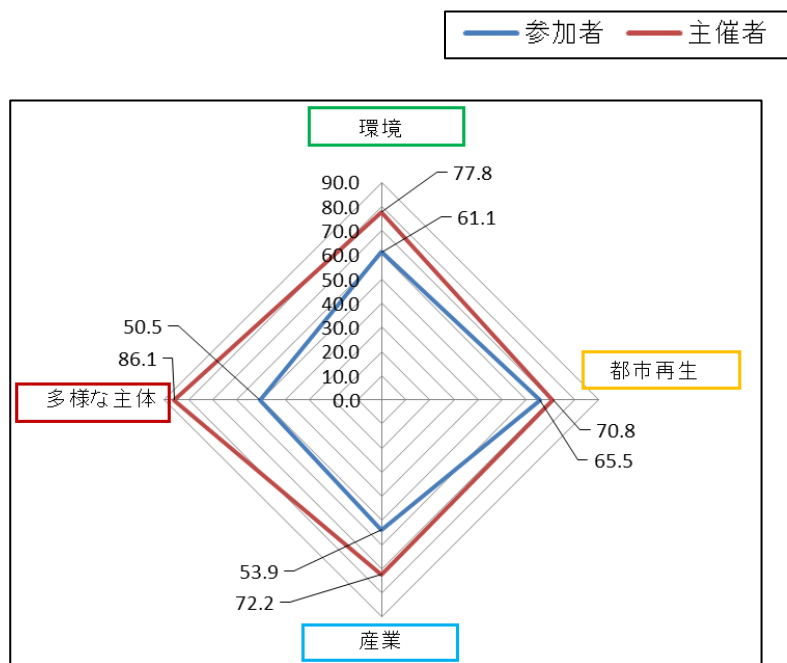


表 25 比較結果内訳【%】
(あまがさきモリンピック)

評価指標	参加者	主催者
環境	61.1	77.8
都市再生	65.5	70.8
産業	53.9	72.2
多様な主体	50.5	86.1

図 14 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(あまがさきモリンピック平成 30 年)

主催者による評価と改善点

【評価】

令和元年度実施分について

- ・「体を動かせる」「非日常がある」「にぎわいを感じる」の評価が一致したことは、競技全般を通して上記3点を感じられるイベントという評価を得られたと考えられる。
- ・参加者は競技に集中しながら、主催者側が企画したパフォーマンスなど感じていたといえる。

令和元年度と平成30年実施分の比較について

- ・「居場所やコミュニティがある」はクラスの仲のよい子ども同士が誘い合って参加するなど、なんらかのつながりで参加したり、現地で交流が起こるものと期待していたが、期待値が大きすぎた。平成30年、令和元年ともに同じ結果であった。
- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」は、スタッフは競技運営にかかりきりであり、参加者の交流を積極的に行う意識付けができていない。スタッフと参加者の交流の仕掛けについては、平成30年と同様に一考の余地がある。

【改善点】

- ・「工業都市を感じる」は競技ごとに協賛企業がつき、景品を提供いただいたため、チラシや競技中のMCでは何度も企業名を連呼したが、いま一步評価が低く、スタッフも感じて欲しいことへの認識が低かったことが課題であり、尼崎21世の森づくりの趣旨を考慮すると視覚的、体感的に感じられるものをもっと提供する必要があると考える。

7) 総括

エピソードによる評価について（総括）

1 実施状況

①平成 30 年度

- ・謎解きゲーム（10月20日）ほか3回 計4回実施

②令和元年度

- ・チャンネルフライデー（5月24日）ほか7回 計8回実施
うち、同一事業での複数回実施は2事業

2 全般的な評価

①主催者期待値と参加者評価

- ・多くのイベントで主催者期待値が参加者評価に比べて高くなっている。

②アンケート回答率

- ・最高 8.8%（35人（回答）/400人（参加者））
- ・最低 0.8%（41人（回答）/5,000人（参加者））
- ・平均 5.0%

③アンケート独自回答項目を設定したイベント

- ・虫取り名人：「家族で楽しめた」「虫のことをたくさん知ることができた」
- ・チャンネルフライデー：「酔っ払った」「ロマンチックを感じた」
- ・森のフェスタ：「森づくりの取り組みを知った」
- ・独自回答項目に関する参加者評価は高い傾向にある。

④2回実施のイベント

- ・チャンネルフライデー

2回目実施の際、カラオケの機材充実やチャンネル通貨の導入したことなどから、「非日常がある」のポイントが10%以上向上した。

- ・あまがさきモリンピック

1回目、2回目との評価に差はなかった。

3 課題等

①イベントとアンケート項目の内容の乖離

- ・例：「虫取り名人」において、「工業都市を感じる」などアンケート項目との関連性が低く、主催者・参加者とも回答しにくい事例がある。

②アンケート回答率が低いイベントがある

- ・アンケートの説明に、回答者意見がイベントの改善に反映する旨説明し、回答率の向上につなげる。

③エピソードによる評価対象イベントの見直し

- ・全てのイベントで実施するのではなく、エピソードによる評価に適したイベントについて基準を設けて実施。
- ・参加者の人数が少数であって森構想に資するイベント。
例：定員を設けて行う学習イベントや少人数を対象とした見学会等。